


水辺の小さな自然再生 事例データベース

事例番号	1HK08	地域	北海道	記入年月	2025年3月
------	-------	----	-----	------	---------

事例名称	単調な直線区間でのバープ工によるサケの自然産卵床づくり(2)									
位置情報	都道府県名	北海道	市町村名	標津町	緯度経度	43.670408, 145.029060	水系名	標津川	河川名	シユラ川
取組概要	サケの自然産卵による漁業資源の増加を目的に、均一な浅い瀬が直線的に続く区間において、地元の若手漁業者を中心とする協議会メンバーにより産卵環境を改善するためのバープ工を複数基設置した。バープ工設置後に連続する瀬淵が形成され、産卵床の増加が確認された。									
再生目的	生物環境	対象種	サケ							
	物理環境	連続性回復 生息・生育・繁殖場造成	魚道（縦断）	-	魚道（横断）	-				
			瀬淵	○	ワンド・たまり	-				
			二次流路	-	水際植生	-				
			攪乱	-	空隙	-				
その他	-									
開始年	2017	工法	バープ工（樹脂ネット、木杭）							
実施体制	実施主体	標津町サケマス自然産卵調査協議会								
	連携者	標津サーモン科学館、北海道技術コンサルタント								
効果	流路が蛇行し淵と瀬が形成された。サケの発眼時生存率は、バープ設置前が22.9%であったが、バープ工設置後には60.0%と高くなった。									
関連資料 URL	旧カルテ	-								
	事例集記事	-								
	現地研修会報告書	-								
参考情報 URL	https://www.ecesj.com/contents/event/conference/26th/26th-Proceedings.pdf https://www.dogi.co.jp/technology/2017/09/01/%E6%A8%99%E6%B4%A5%E5%B7%9D%E6%B0%B4%E7%B3%BB%E3%82%B7%E3%83%A5%E3%83%A9%E5%B7%9D%E3%80%80%E3%83%90%E3%83%BC%E3%83%96%E5%B7%A5%E8%A8%AD%E7%BD%AE%E3%81%AE%E7%8F%BE%E5%9C%B0%E6%8C%87%E5%B0%8E/									

本表は、公開情報及び関係者ヒアリングに基づき作成したものです。誤った情報、修正・更新を要する情報、新たに追加したい事例等がございましたら、(公財)リバーフロント研究所・リバフサポートセンター（担当：和田彰）までお知らせください。 Email: supportcenter@rfc.or.jp